



府中市庁舎建設基本計画を策定しました



このたび、庁舎建設の基本的な考え方を示し、設計に向けた基本的な指針となる府中市庁舎建設基本計画を策定しました。本計画では、耐震性やバリアフリー対応の不足などの現庁舎の課題を解消するほか、府中の歴史や魅力を発信し、京王線府中駅とJR府中本町駅のにぎわいをつなぐ役割として、「市民に親しまれ、府中らしさを受け継ぐまちづくりの拠点となる庁舎」を目指します。

本号では、計画の策定に当たり、パブリック・コメント手続や市民説明会でいただいた主なご意見と市の考えを紹介します。

今後は、本計画に示した市の方針に基づき、設計者の選定や設計作業に取り組んでいきます。

問合せは、政策課庁舎建設担当(335・4129)へ。

基本計画の内容、パブリック・コメント手続でいただいたご意見と市の考え、市民説明会の内容は、市のホームページなどでご覧になれます。

パブリック・コメント手続と市民説明会の実施結果

平成26年12月15日(月)から平成27年1月16日(金)の期間でパブリック・コメント手続を実施し、143人の方から合計397件のご意見をいただきました。

また、本年1月には市民説明会を開催し、基本計画案に関する説明、質疑応答、各テーマ(窓口機能、バリアフリー、環境配慮、防災・災害復興拠点など)に関する意見交換を行いました。

市民説明会の実施結果

日程	場所	参加者数
1月9日(金)	西府文化センター	15人
1月10日(土)	府中市役所本庁舎	23人
1月11日(日)	白糸台文化センター	12人
1月21日(水)	府中市役所本庁舎	7人

※1月21日(水)は聴覚障害者団体向けに実施しました

府中市庁舎建設基本計画の概要

新庁舎の必要性

現在の庁舎は、西庁舎が昭和34年、東庁舎が昭和45年に建設された旧耐震基準に基づく建築物で、一部に耐震基準を満たしていない診断結果が出ています。

このことに加え、施設及び設備の老朽化、高度情報化及びバリアフリー化への対応の限界などの課題を抱えており、市民サービスの低下や行政効率の面でも支障が出始めているため、早急な対応が求められています。

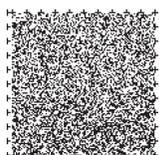
府中らしい個性ある新庁舎

- 京王線府中駅とJR府中本町駅のにぎわいをつなぐ庁舎
- 市民と行政との協働を支える庁舎
- 歴史あるまち、魅力あるまちを発信する庁舎
- 水と緑の豊かな空間のある庁舎

基本理念

市民に親しまれ、府中らしさを受け継ぐ
まちづくりの拠点となる庁舎

基本方針	整備方針
市民に親しまれる開かれた庁舎	○市民サービス向上につながる庁舎の機能 ○市民が集う開かれた庁舎を実現するための機能
環境に配慮した安全な庁舎	○防災・災害復興拠点機能 ○環境との共生に関する機能
市民サービスのために使いやすい効率的な庁舎	○ユニバーサルデザインに関する機能 ○行政執務機能及び執務環境に関する機能 ○将来の変化に対応できる機能
まちづくりとの連携を担い、市民が誇りを持てる庁舎	○市民参加のまちづくりや市民協働を支える機能 ○地域の交流及び発展への貢献



音声コード専用読取装置で、コードの文字情報を音声で聞くことができます。

ご意見と市の考え

概算事業費

市民の声

- 府中駅南口再開発と給食センターの大規模事業も合わせると、市民に大きな負担になるのではないか。
- 手数料の見直しや各種補助金の減額は、新庁舎建設のために行われているのではないか。
- 建設費用が高騰しているため、計画を延ばした方が良い。
- 市庁舎の整備は理解できるが、事業費の縮減に努めてほしい。

市の考え

- 市民の皆さんに負担をかけないよう取り組んでいきます。

■ 財源の考え方

手数料や補助金など見直しについては、将来にわたって健全財政を維持し、市民サービスの効果を一層高めるため、市の行財政改革推進プランに基づき、事務事業の見直しの方策のひとつとして行っており、見直しによる効果額を本事業の財源として活用するための取組として行っているものではありません。また、これまでの市民サービスに影響を与えないよう、庁舎建設に係る財源は、基金(貯金)と起債(借入)を活用することを基本的な考えとしています。府中駅南口再開発事業や給食センターの整備事業も同時に進んでいますが、借入額と償還額のバランスを考慮した財政運営に努め、市民サービスの低下につながらないよう取り組んでいきます。

■ オリンピック後の社会情勢

資材や労務単価など建設費用の上昇については、オリンピック終了後に民間企業の開発事業や、国が計画している公共施設整備事業などが動き出す可能性もあり、オリンピックが終了しても建設費用が落ち着く保証がありません。現在の庁舎が抱えている多くの課題が解消されないまま建替えの計画を先延ばしにすることはできないと考えています。

■ 事業費縮減の取組

本事業の概算事業費は合計で約177億円となっていますが、事業費の縮減に向けて、各種補助金の活用に関する調査を進めるほか、新庁舎における売店や駐車場など、民間のノウハウを活用することが可能な施設などを活用した市の歳入確保の仕組みを検討します。

◆ 概算事業費 ◆

項目	金額
新庁舎建設工事費(外構工事費含む)	128.3億円
解体工事費(西庁舎、東庁舎、北庁舎及び付属施設)	8.4億円
仮設庁舎建設工事費(移転費含む)	6.3億円
設計費等(基本・実施設計、工事監理費など)	4.8億円
土地買収関連費	29.3億円
合計	177.1億円

※上記概算事業費には、備品購入費及び埋蔵調査費は含まれていません。
 ※概算事業費は、社会経済情勢の影響により今後変更が生じる可能性があります。

府中らしさ

市民の声

- 府中らしさとはどのように考えているのか、イメージが見えない。
- 府中は歴史があるので、前面に出した方が良い。

市の考え

- 府中市に合った整備を行うことで府中らしさを演出します。

新庁舎の基本理念「市民に親しまれ、府中らしさを受け継ぐまちづくりの拠点となる庁舎」を目指し、庁舎建設基本計画市民検討協議会や職員検討会では、「府中らしさ」をテーマとした議論を通して、また、パブリック・コメント手続でも多くのご意見をいただきました。今後は、こうしたご意見を参考に、設計を進めるなかで「府中らしさ」を具体化していきます。

検討期間

市民の声

- もっと早い段階で市民の意見を聞く場を設けてほしかった。
- 市民の声を聞いて計画するには時間が不足しているのではないか。

市の考え

- 様々な市民の意見を聞く機会を経て検討してきました。

平成22年度に庁舎建設検討協議会を6回、平成25年度に庁舎建設基本計画市民検討協議会を7回、職員検討会を8回開催するなど、市民や学識経験者などを含めて、これまで多くの議論を重ねてきました。また、平成22年度には来庁者アンケートや市政世論調査で庁舎建設に関する項目を追加し、庁舎の課題などについてご意見を伺うとともに、平成23年度に庁舎建設基本構想を策定する際にはパブリック・コメント手続を実施し、幅広くご意見をいただいています。これに加え、市議会の庁舎建設特別委員会でも活発な議論を通して検討を重ねているところです。今後も、必要に応じて市民の皆さんのご意見を聞く機会を設けながら、事業を進めていきます。

新庁舎を望む声

市民の声

- 現在の庁舎は、早急に建替える必要がある。基本計画の耐震技術を全て活用して防災体制に万全を期してほしい。
- 長期にわたり庁舎を大切に維持されてきたことに敬意を、そして、ようやくの建替えに新しい府中の幕開けとしての期待を感じます。
- 市役所の建替え計画を知り、わくわくしています。市民が大満足する庁舎をお願いします。
- 新庁舎を建てるからには、ほかの庁舎の良い所や悪い所を参考にし、すばらしいものを作ってください。応援します。

市の考え

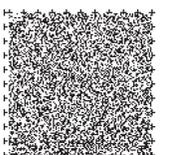
- 現在の庁舎の課題を解消できる、「市民に親しまれ、府中らしさを受け継ぐまちづくりの拠点となる庁舎」を目指し、事業を着実に推進します。

市民の皆さんからいただいたご意見に加え、これまで庁舎建設事業を進めるに当たり、市議会、庁舎建設検討協議会、庁舎建設基本計画市民検討協議会、市民アンケート、関係団体とのヒアリングなどを通して、たくさんのご意見をいただきました。こうしたご意見をもとに、このたび、新庁舎に関する本市の方針となる基本計画を策定することができました。市民と職員に長く愛される庁舎の整備を目指して本事業を着実に推進していきます。

いただいたご意見の基本計画への反映

基本計画(案)に対しては、パブリック・コメント手続を通して多くのご意見をいただきましたが、全体の約8割の方が基本計画(案)の内容そのものに賛成するなど新庁舎整備に関する本市の方針に一定の理解を示している内容だったため、基本計画の内容を大きく修正するものではありませんでした。

今後は、設計業務のなかで、今回寄せられた多くのご意見に加えて、これまでも市民検討協議会などからいただいているご意見を参考に新庁舎の姿を具体化させるよう努めます。引き続き、広報ふちゅう新庁舎特別号などを通して新庁舎整備の進捗状況を市民の皆さんにお知らせします。



市民の皆さんからの

新庁舎の必要性

市民の声

- 耐震性が低い西庁舎だけ建替えれば良い。
- 耐震改修すればまだ使用できる。

市の考え

●一部の庁舎で耐震性が不足しているため、早急に対応する必要があります。耐震改修で対応した場合でも、短期間のうちに再度建替えを検討しなければいけません。

■現庁舎の課題

現在の庁舎は、耐震性の不足、維持管理費の増大、バリアフリー対応、施設・設備の老朽化、施設の狭あい化及び事務室の分散化の課題を抱えており、市民サービスの低下や行政効率の面でも支障が出ています。特に耐震性の不足については、建物の耐震性能を表す指標(1s値)が一部基準を満たしていないなど、地震に対して危険性があるとの診断結果が示されています。市庁舎は防災・災害復興拠点として機能や設備が停止することなく災害対策の中核的機能を担うべき重要な施設であることから、耐震性を確保するなどの対策を早急に行う必要があります。

■整備手法の検討

整備の手法として、「現敷地」と「現敷地を拡張した敷地」という大きく2つの前提条件に分けたうえで、既存庁舎(西、東、北庁舎)の有効活用パターンの組替えに応じて10案についての比較検討を行いました。そのなかで耐震改修を行う手法も検討しましたが、耐震改修を行う場合は、建物自体の強度が増すだけで耐用年数が延びるものではありません。そのため、耐震改修を行った後、短期間で建替えの検討が必要になるとともに、現庁舎の課題である施設の狭あい化が更に進むこととなります。建替えを行う場合は、耐震改修を行う場合と単純に比較すると費用がかかりますが、維持管理に係る費用など長い期間で見ると必ずしも費用が高くなるとは限りません。こうした費用的な視点に加え、機能的・環境的視点などを合わせて総合的に検討した結果、現敷地を拡張して全ての庁舎を建替える手法が適切であるとの結論に至っています。

◆整備手法のパターン◆

A 現敷地での建替え



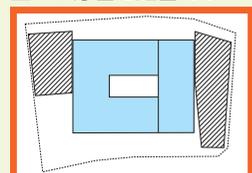
B 敷地を拡張して建替え



※青色部分は新しい建物、白色部分は既存の建物、斜線部分はオープンスペース

敷地を拡張することにより、10案のなかで最も自由度が高く、庁舎整備のあり方を積極的に取り入れることが可能です。新庁舎の想定する耐用年数100年間に係る費用として、既存庁舎の有効利用を図る整備パターンでは、建物の長寿命化を図ったとしても新庁舎より先に建替えが必要になることから、全てを解体する整備手法のほうが費用を抑えられます。

敷地を拡張し、全ての庁舎を建替える



建物の形状はイメージであり、この形状には決まっています。

検討に当たっての評価項目

大項目	中項目
機能的な視点	新庁舎としてのシンボル性
	機能性
	快適性
環境的な視点	まちづくりとの整合性
	周辺環境への影響
	環境配慮
防災的な視点	安全性
施工の視点	施工性
財源的な視点	経済性
法的な視点	法的課題

新庁舎の規模

市民の声

- 規模を最大限とし、住宅や商業施設を併設すべきである。
- 各種機能は地域に分散させ、新庁舎は事務所機能だけで良い。
- 規模が大きすぎる、小さすぎる。

市の考え

●将来的な行政ニーズを想定した面積を算出します。

■府中市の人口は微増傾向

現在の庁舎の機能は、市役所本庁舎と府中駅北第2庁舎の2箇所に分散し、本庁舎ではさらに西・東・北庁舎に分かれ、申請手続きなどを行う窓口業務の部署の階が異なるため、市民にとって不便な造りとなっています。また、人口推計で今後人口が微増し平成42年度まで26万人以上を維持することや、東京都などからの事務移管の可能性もあることから、その場合の事務量や対応する職員数を想定する必要があります。

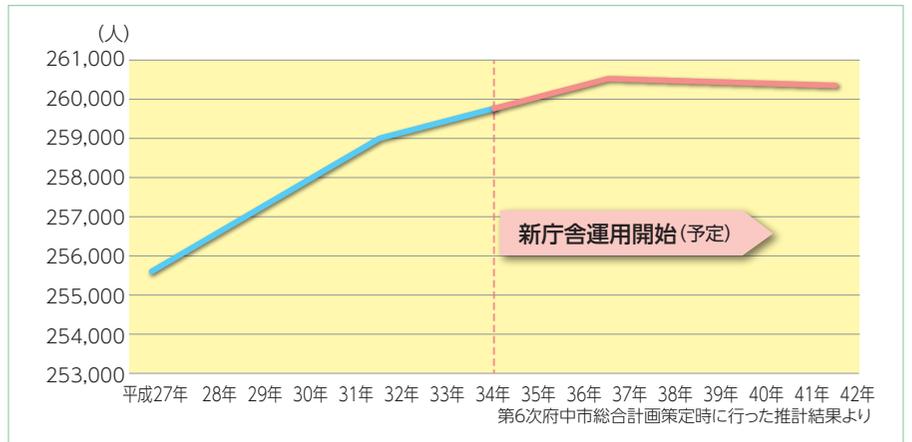
■必要な面積の算出

新庁舎では、関連する業務を行う部署を集約することに加え、将来の行政ニーズを踏まえた面積などを追加した適正な規模を検討します。また、ユニバーサルデザインや市民サービス向上の観点から、来庁者が快適に庁舎を利用できるようにするため、一定の空間やプライバシーに配慮した環境を整備することも必要であることから、今後、具体的な窓口機能などについても検討し、必要な面積を算出していきます。

■周辺環境への配慮

建設予定地の周辺には大國魂神社や多くの住宅などが隣接しています。周辺環境への配慮から、高層な建物など規模の大きなものを建設することは望ましくないと考えています。

◆府中市の人口推計◆



建設予定地

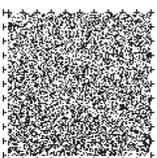
市民の声

- ほかの場所で建替えたほうが良いのではないかと。
- もっと駅の近くが良い。
- 現在の場所が良い。

市の考え

●費用面、利便性から判断すると現在地が最適となります。

現在の位置は、京王線府中駅とJR府中本町駅から徒歩圏内にあり、府中市の中心部に存在することから、利便性の面では最適であると考えています。また、大國魂神社に隣接して建設用地としてふさわしく便利であるという市民や利用者からの声も非常に多く、市民が参加する検討協議会でも議論されてきました。計画している規模の庁舎を建設することが可能な敷地を別に確保することが費用面からも難しいことから、現在地での建替えとしています。



これらのご意見は設計を進めるなかで参考にします

●窓口機能

- ・もう少し落ち着いて職員と会話ができるスペースがほしい。用件を忘れることがある。
- ・スペースが狭いため、相談していると待っている市民に内容を聞かれてしまう。プライバシーに配慮してほしい。
- ・玄関から窓口まで距離があると大変である。玄関になるべく窓口を近づける工夫も必要。一概にロビーが広いことが良いわけではない。
- ・番号呼び出しのときにモニターをずっと見ていなければいけないので、振動する番号機があれば良い。
- ・窓口の番号案内のなかに「手話通訳必要」や「個人のプライバシーに配慮する必要がある」というボタンもあって良い。
- ・筆談や手話が少しできる人も来てもらえる環境にしてほしい。

●環境配慮

- ・自然を使い緑化をしながら無理なく省エネに取り組める体制を整えて欲しい。
- ・府中らしい庁舎として、カラマツの間伐材を有効利用するなどして、居心地の良い空間を作ってほしい。
- ・緑と水に加えて花を取り入れてほしい。市内にある都立農業高校や東京農工大学との協働を図ってほしい。
- ・充電ステーションや水素ステーションがあれば、万一のとき発電できる。
- ・風力、太陽光、水力のエネルギーを使ってほしい。

●ユニバーサルデザイン

- ・エレベーターは中が狭く来庁者も多いため、車椅子の人が利用しにくい環境になっている。
- ・子育て関連の部署が5階になっているので、ベビーカーがあるとエレベーターであがらなければいけないので大変である。
- ・車いすだけでなく、点字や外国人の対応の必要性も考慮してほしい。
- ・総合窓口のモニターの映像は、文字解説や手話付きにしてほしい。
- ・腎臓が悪い方やオストメイトの方が利用しやすいだけでもトイレがあると良い。
- ・待合いのいすは手すりがないため、深いいすになると高齢者は立ちあがる際に大変である。
- ・要所で腰をおろせる場所がほしい。

●防災機能

- ・地震以外の大規模災害についても考慮する必要がある。
- ・ライフラインのバックアップを含めた防災拠点としての機能をお願いしたい。
- ・耐震性を含め、今後起こりうる地震に対して、いざというときに活動できる機能は必要である。
- ・免震構造はぜひとも採用し、高層部でも揺れが少ないようにしてほしい。



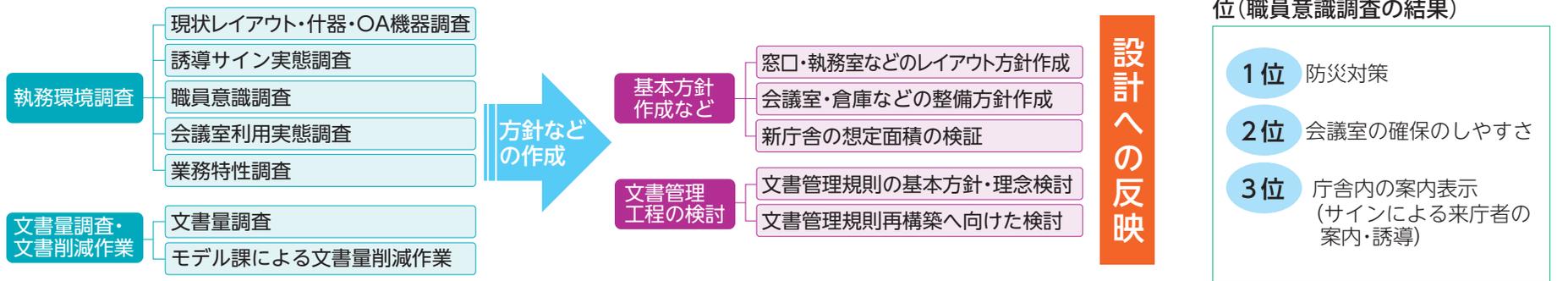
市民説明会の様子

執務環境に関する調査

平成27年度の設計作業に向けて、現在の庁舎の備品や書類などの数量、各部署における会議や業務関連の実態を把握するために執務環境に関する調査を行っています。現在は結果をとりまとめている段階ですが、職員の意識調査では、優先的に改善すべき項目として防災対策が1位となり、多くの

職員が庁舎の安全性に対して不安を抱えながら執務をしています。現在の庁舎の大きな課題の一つである事務室の分散化を解消し、来庁者にとって利用しやすい新庁舎にするとともに、職員にとっても安全安心に効率的で働きやすい庁舎とすることで、市民サービスの向上につなげていきます。

◆方針づくりの流れ◆



●優先的に改善すべき項目の上位3位(職員意識調査の結果)

- 1位 防災対策
- 2位 会議室の確保のしやすさ
- 3位 庁舎内の案内表示(サインによる来庁者の案内・誘導)

事業スケジュール

平成27年4月より、学識経験者などで構成される庁舎建設設計者選定委員会(仮称)を設置し、基本設計・実施設計を行う設計者の選定作業を行います。書類審査やプレゼンテーション審査を経て、7月下旬を目途に設計者の候補者を選定する予定です。
 なお、本スケジュールは現時点での条件を踏まえて想定したものであるため、今後設計を進める上で、仮設庁舎を必要としない手法など設計者からの提案などにより、事業工程に変更が生じる可能性があります。

年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
基本計画策定	基本計画策定								
埋蔵文化財調査			埋蔵文化財調査						
設計者選定		設計者選定							
仮設庁舎建設			仮設庁舎建設						
基本設計・実施設計		基本設計・実施設計							
施工者選定				施工者選定					
建設工事				建設工事					
外構工事									外構工事

市民説明会を開催します

説明会は、基本計画の概要、これまでいただいた市民のご意見とそれに対する市の考えの紹介や案内表示、オープンスペースの活用などについての意見交換を概ね1時間半程度で実施する予定です。事前申込みは不要で、どなたでも参加できます。たくさんのご参加をお待ちしています。

日程	開始時間	場所
3月27日(金)	午後6時半	スクエア21・女性センター会議室
3月28日(土)	午後2時	府中市役所北庁舎3階会議室
3月29日(日)	午前10時	生涯学習センター3階研修室

※当日は、開始時間の30分前から受付を行います。
 ※スクエア21・女性センター及び生涯学習センターは、お車でお越しの場合に駐車場代がかかります。

ご意見をお寄せください

平成27年度より設計が始まるに当たって、設計者に求める条件や新庁舎に必要なだと考える機能などについてご意見を募集します。なお、いただいたご意見に対して個別には回答はしませんが、今後設計を進めるなかで参考にさせていただきます。

提出方法
 住所・氏名・意見を記入し、郵送、FAX、Eメール、持参などによりご提出ください。

提出・問合せ先
 〒183-8703府中市宮西町2の24
 府中市役所政策総務部政策課庁舎建設担当
 電話(335・4129) FAX(366・7752)
 Eメール(chousya01@city.fuchu.tokyo.jp)
 ※3月30日(月)から事務室が東庁舎4階に変更になります。

